

会議録

会議の名称	第1回西東京市中小企業等資金融資検討委員会
開催日時	令和元年5月23日(木) 午後6時30分から午後7時30分まで
開催場所	保谷庁舎2階会議室
出席者	<p>石坂 裕二 委員長 小関 俊典 副委員長 松岡 佑和 委員 村山 浩宜 委員 安保 謙一郎 委員 金子 大輔 委員</p> <p>[事務局] 小菅 真秀 産業振興課長 山田 公一 産業振興課商工係長 廣野 美保子 産業振興課商工係主査 市川 孝輔 産業振興課商工係主任 小松 聡覚 産業振興課商工係主事</p>
議題	<p>(1) 特定創業資金融資あっせん制度の実績について (2) 今後の融資あっせん制度のあり方について</p>
会議資料の名称	<p>資料1 経済状況及び動向等資料 資料2 平成30年度西東京市特定創業支援事業関係の実績について 資料3 平成30年度融資あっせん制度事業等の実績 資料4 今後の融資あっせん制度のあり方について</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

【新事務局の紹介】

(開会前に、人事異動等に伴う、村山新委員、金子新委員、小菅課長の挨拶と、各委員の紹介を行う。)

1 開会

委員長：

開会前に報告する。定足数に達しているため、会議を開会する。
傍聴者の確認をする。

事務局：

いません。

委員長：

本日の会議資料について、事務局から確認をお願いする。

【事務局から資料確認と西東京市産業振興マスタープラン後期計画の説明】

2 議題

(1) 特定創業資金融資あっせん制度の実績について

事務局：(資料1～3に基づき説明)

現在の経済状況や経済動向について、月例経済報告では、平成31年1月から平成31年3月までの3か月間をとおして、一部に弱さも見られるが、緩やかに回復している。地域経済動向における景況判断では、鉱工業産業では、緩やかに持ち直しているほか、住宅建設は前年に比べて増加している。

東京都内の中小企業の景況では、景況指数表において、直近の調査では、業況が悪化傾向であり、やや改善する見通しを示している。

都内、多摩地域及び西東京市内における中小企業の倒産件数において、都内全体で減少しているが、多摩地域においては、倒産件数が前年から増加している。本市においては、平成30年の倒産件数は7件で、前年の7件から横ばいである。

セーフティネット保証5号について、平成30年第4四半期の指定業種は207であり、今年度の本市への申請件数はない。

平成30年度西東京市特定創業支援等事業関係の実績について、創業スクール実績は第1回目14名、第2回目22名、合計36名が受講した。

産業競争力強化法に基づく証明書発行の実績は15名。内、特定創業融資あっせん制度を申請した方は3名。

特定創業資金融資あっせん制度実績について、平成30年度は、申込が3件、1,670

万円、融資実行が2件、1,105万円。

平成30年度融資あっせん制度事業等の実績について、事業資金は、全区分合計で、申込が97件、4億8,405万円、融資実行が89件、4億1,595万円。創業資金は、全区分合計で、申込が10件、5,020万円。融資実行が7件、3,555万円。

各種制度の実績の比較について、事業資金の区分は、平成30年度の申込額が500万円の前年度より13万円増加、融資実行額が468万円の前年度より14万円増加。保証料が10万4,929円の前年度より2,384円の増加である。

中小企業信用保険法「セーフティネット保証5号」認定実績は0件で前年度より2件減少している。

委員長：

各委員から意見、質問を求める。

事務局：

補足として、産業振興マスタープラン中期計画の中で、本委員会にて特定創業資金を新メニューとして創設したため、今回議題として説明させていただいた。

(2) 今後の融資制度のあり方について

事務局：（資料4に基づき説明）

これまでの中小企業等資金融資検討委員会での審議内容について、平成29年度は、「事業承継」、「事業転換」、「事業多角化」に係る融資制度についてニーズがあるものとしてご意見をいただいた。平成30年度は、前年度検討結果に加え、「借換」、「女性事業者向け」に係る融資制度についてニーズがあるものとし、融資限度額や、借入時期も含め検討する必要があるとご意見をいただいた。

創業資金融資連絡会議での信用保証協会からの意見について、平成31年2月1日に行った創業資金融資連絡会議の中で、信用保証協会から「融資限度額」「融資の重複での利用」「事業転換・事業承継についてのニーズ」についてそれぞれご意見をいただいた。

東京都の融資制度の動向について、(1)働き方改革支援融資を新設(2)M&Aにより事業承継に取り組む中小企業に対し、特例メニュー新設(3)設備投資・企業立地促進融資では、融資期間を15年以内に拡充及び、設備資金に付随する運転資金を追加(4)小口短期融資新設(5)東京信用保証協会と連携した経営支援融資を拡充

他市の融資制度（平成30年度実績）について、【借換融資】、【事業承継】、【その他として事業転換、事業多角化、女性事業者向け融資】の実績から、借換融資の申請件数及び実行件数が多く、ニーズとして高いことわかる。西東京市産業振興マスタ

ープラン（後期計画）において新分野の融資あっせん制度の構築をするにあたり、借換融資を新メニューとして創設をする方向性で検討する。

重複融資及び借換融資について、現制度では、再度利用するために完済が条件となっている。重複して借入れができる場合の事業者における月々の返済金額を表したものがこの図である。

他市の借換融資制度を基に2つの事例をご紹介します。一つ目、八王子市、多摩市、福生市の例で、借換融資の中から、残債を繰上償還し、真水分を追加融資として利用する場合の事業者における月々の返済金額を表したものがこの図である。

二つ目、立川市の例で、複数ある既存の残債を借換資金として一本にまとめる場合の事業者における月々の返済金額を表したものがこの図である。

借換融資と重複融資の比較について、残債額、追加融資額、償還期間が同じであっても、事業者の月々の返済金額は異なることがわかる。

最後に、今後の融資検討委員会の日程について、第2回を8月、第3回を12月と予定している。

委員長：

各委員から意見、質問を求める。

B委員：

借換融資について、融資限度額は、どのくらいを考えているか。

事務局：

八王子市、多摩市、福生市の例における借換融資を考えた場合、残債額に加え、追加融資分（真水分）がある程度必要となる。そこも含め、本委員会で議論していきたい。

D委員：

八王子市、多摩市、福生市の例における借換融資は、実際にニーズが高い。キャッシュ・フローの支出を減らしながら、追加融資を借りたい方は多い。

A委員：

融資限度額は、他市の実績を見ても重要だと感じる。

事務局：

融資限度額について、本市の財政状況や事業者からの意見も踏まえ、本委員会で決めていきたい。

A委員：

借換融資のニーズについてお聞きしたい。

D委員：

市の融資制度を利用しているほとんどの事業者から、金利の面も考え、借換などの追加融資が欲しいとのご相談をいただいている。現制度では、追加融資を行う場合、

完済が条件となるため、ハードルが高く、8割以上の事業者が市の融資を使って、追加融資をしたいと考えている。

事務局：

現制度では、一度借入をしてしまうと、返済までの数年間、追加融資ができない。そこを補填するためにも、借換融資に必要性を感じる。

A委員：

一般的に、最初に多くを借り入れるのではなく、追加融資を利用するのは、当初の事業計画から状況が変わるためか。

事務局：

そう認識している。

C委員：

融資を受けた方が、事業が上手く進むことにより、追加で運転資金が必要となることは多い。業績が良く店舗を増やしたい事業者にとって、市の制度として、追加融資ができないことで、市外に事業展開をしてしまう可能性がある。

事務局：

借換融資を利用することで、自転車操業にならないか心配である。

C委員：

当初計画が上手くいってない事業者は、真水分のない借換融資を利用することで、返済期間を見直すことができる。借換融資は、事業が前向きな場合でも事業が厳しい場合でも利点があるためとてもニーズが高い。

D委員：

金融機関として、借換融資を用いて返済期間を見直すことで、事業計画の本質的改善を行うことができる。

B委員：

事業者によっては、多くの融資を受けたくない場合がある。状況によって選べる融資制度があると良い。

委員長：

新融資制度の創設に向けて、本会議において前向きな意見が多く出た。事務局は、今後どのようなスケジュールで業務を行うか。

事務局：

本会議から、借換融資を中心として制度設計を検討し、次回の検討委員会までに、事業概要をお示しする。

委員長：このようなスケジュールでよろしいか。

(異議なし)

3 その他

委員長：その他について、各委員から意見、質問を求める。

(なし)

委員長：
事務局より意見を求める。

事務局：
本日の会議の会議録について、後日、委員にメールで送付し、内容をご確認いただいた後、必要に応じて修正し公開の手続きを取りたいが異議はないか。

(異議なし)

委員長：
以上をもって、令和元年度第1回中小企業等資金融資検討委員会を閉会する。